

外国語しか話さないロボット教師から学ぶ！

特願2013-015545(出願日:2013年 1月30日)、特開2014-145976号公報

発明の名称; ダイレクトメソッドにもとづく外国語会話学習システム

キーワード; 言語学習法、ダイレクトメソッド、

用 途 ; 外国語教育システム

企業への期待:

■ 外国語教育システムに関心のある企業との共同開発を希望しています。

特許

情報・通信

【出願人】 国立大学法人 三重大学

【発明者】 松井博和

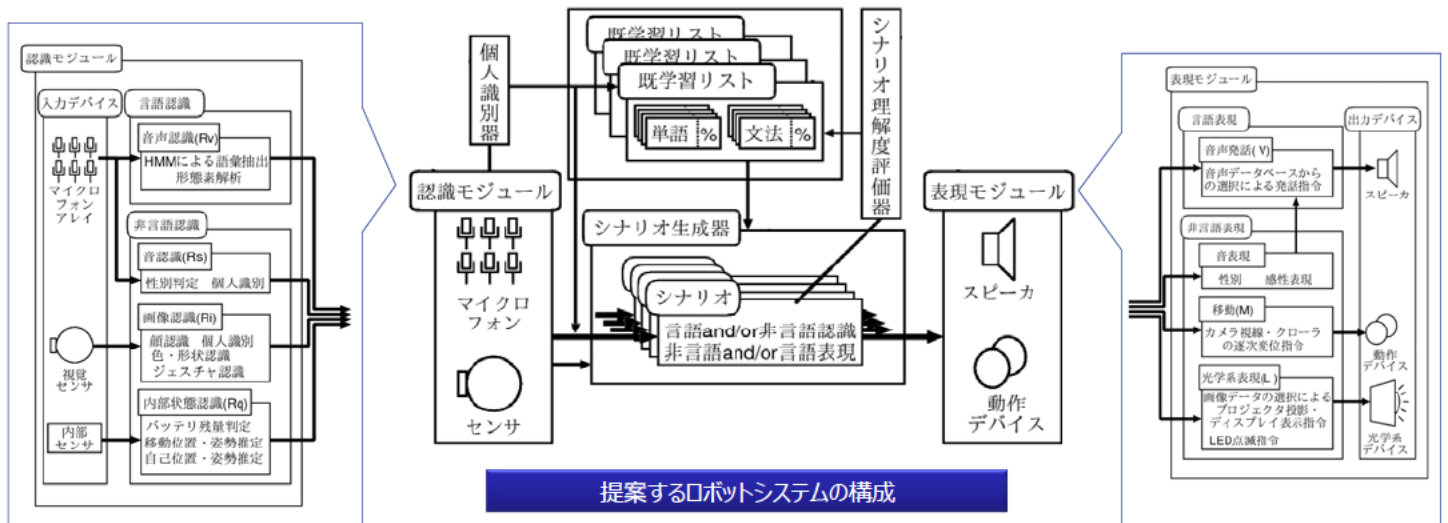
【従来技術の問題点】

言語学習におけるダイレクトメソッドは、教師が学習者に対し学習言語のみを用い、学習者の母国語を用いない学習法である。この方法は幼児が言葉を習得する過程を模倣した学習法ともいえ、会話習得に極めて有効であると考えられている。しかし学童や成人に対しこの手法を用いる場合、習得まで同じ内容を繰り返すがあるため、学習に長時間を要し、学習コストは高くなる。また、本学習法に適した外国語教師の確保も容易ではなく、しかも学習者にとっても必ずしも自分の都合のよい時に、自分のペースで語学学習を進めることができない等の問題もあり、普及の難しい語学学習法ともいえる。

一方、近年の目覚ましいロボット技術開発により、優れたコミュニケーションロボット(特開2000-333073号公報)や、語学学習システム(特許第3249764号)等が提案されている。しかし未だロボットにダイレクトメソッドに於ける教師役を務めさせる発明の開示はない。

【解決手段】

認識機能として聴覚機能と視覚機能を有し、また表現機能として発声機能と行動機能と表示機能を有しており、通常は語学ロボットとして機能する。語学ロボットはダイレクトメソッドを実践する教師ロボットであり、学習する外国言語のみを話し、外国語のみを聴き取ることしかできない。教師ロボットはまず、学習者に外国語を発声させるよう誘導する1のシナリオを実行し、次いで、学習者がこの誘導に呼応して外国語を発声する。この時、教師ロボットは学習者の発声を分析して次に続くシナリオを作成し、これを実行に移す。



提案するロボットシステムの構成

- 幼児が言葉を獲得して行く学習法を、ロボットを用いて実現した。
- 時間を気にすることなく、納得するまで自分のペースで個人学習できる。

連絡先: 三重大学知的財産統括室
 TEL; 059(231)5495 FAX; 059(231)-9743
 E-mail; chizai-mip@crc.mie-u.ac.jp

連絡先: 株式会社 三重ティーエルオー
 TEL; 059(231)9822 FAX; 059(231)9829
 E-mail; mie-tlo@zvtv.ne.jp